



百人一首と CL(六)

2016

David K. Reynolds

この随想集は日本の百人一首が元になっています。どの作者の詠んだ一首か、捜し当てるのも一興です。

アオカケスが鳥の餌箱を襲う
小鳥たちのために中身を周りにこぼすよう願う
そのうえ、鳥の望みを無視して、自分の望みをはっきりさせて
アオカケスに水風船をなげつける

あなたが恋しい思いがわく
ペースを落とすときだけわいてきて
思いは自然に湧く
なすべきことを見つけるために

ある感情が起こるよう求める
要求次第
天気（感情）メニューから注文するように
予想どおりデザートにがっかりする
（感情は自然現象）

私の名前と評判は私ではない
借りた言葉は私ではない
どれも以前居たことがある場所の印

静かなときをおおって
嵐は人の注目を引く
嵐の時も静けさに気づくよう学んで
いつも起こるわけではない、学べるときを大切に

自分が持っているものを守る
もう何か負担
たくさんのことが境界をむき出した
壁とたくさんの鍵を強化した
心は時代遅れ

早朝の庭仕事で
ひたすら動き続けて、蚊に気づかない
考えてみれば、今までの人生のよう

きちんと毎日の日課をこなす
未来の霧を追い払って
それがすべてではないが
人は皆毎日を切り抜ける

あなたはこの本の内容を知らなくていい
私は書かなくてはならない
ご親切に読んでくれたことに
感謝と驚きが沸き上がる

名声の瞬間が訪れるとしたら
（上に向いた自分）
孤独だったときと比べて
道を下ってみる

夜明けに歩く
周りには誰もいない
その日の最初の新しい微風を味わえる
自分の息がどれほど遠くに飛ぶか誰も知らない

距離を保つのは安全（車間距離）
チャレンジを避けるのは簡単な道
家にずっと居れば旅の危険に会わない
努力しない状態は人を弱らせる
ただ座っているだけで、そりは勢いを増す

（アメリカ・オレゴン州CLセンター所長）